

ブラスト処理による溶接止端部の疲労強度向上効果 に関する研究

藤井, 壽裕

<https://hdl.handle.net/2324/4475074>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	藤井 壽裕		
論 文 名	ブラスト処理による溶接止端部の疲労強度向上効果に関する研究		
論文調査委員	主 査	九州大学 教授	後藤 浩二
	副 査	九州大学 教授	宇都宮 智昭
	副 査	九州大学 教授	柳原 大輔
	副 査	長崎総合科学大学 准教授	岡田 公一

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、塗装前処理として要求されるブラスト処理が疲労強度改善対策として広く認識されているピーニング処理と同様の効果を生んでいることを残留応力測定や疲労試験の結果に基づき検証し、ブラスト処理効果を考慮することで過剰品質気味の船体構造設計の改善が可能であることを示したものであり、船体構造工学及び疲労強度学に関する価値ある業績であると認める。以上の結果、博士（工学）の学位に値すると認める。